

取組紹介

## 2 若手従業員向け教育プログラムの運営を工夫し、残業削減・従業員パフォーマンス向上

### 取組内容

- 若手向けの「塾」と称した教育プログラムを業務時間内に実施しています。熟練技術者と若手が、ペアで技術を確認しながら進める形式です。業界では、技術の鍛錬は業務時間外に、自主的に行うことが当たり前とされていました。業務時間外での鍛錬は、実質的には長時間の残業をしていることと変わらず、働きながら鍛錬のできる環境をつくるのが「働きやすい環境」につながり、従業員の負担軽減にもなると考え、このプログラムを始めました。
- 事前に教育計画を立てることで、教育する人・される人の双方が明確な目標を持って臨めるようになったため、効率的に学習する体制が整っています。
- 作業時間を減らしても時間内に集中して学ぶ仕組みを整えたことで、教える側も「誰に・何を・どこまで伝えるか」を整理でき、若手も短時間で技術を身につけられるようになりました。

### 取組による効果

- 業務時間外に鍛錬していた時よりも、業務全体のパフォーマンスが向上したという声を聞きます。
- 業務時間内に実施すると、教育プログラムに参加していない他の従業員も関心を持つようになりました。社内の意識が向上し、技術共有が盛んになったことに加え、教育プログラムをきっかけとしたコミュニケーションが増加しました。結果として、教育プログラムの対象者のみならず、社内全体の業務パフォーマンスが向上してきたと感じています。



取組紹介

## 3 女性が働きやすい制度が充実。ライフステージに合わせた働き方を支援

### 取組内容

- ライフステージが急に変化したとしても、仕事を続け、能力を最大限発揮できるような制度整備を心掛けています。また、従業員が相談しやすい環境づくりにも注力しています。
- 従業員からの要望や相談も積極的に取り入れ、短時間勤務制度を導入したり、ベビーシッター利用券の発行なども実施しています。
- 役員による年に2回の定期面談を実施しており、従業員一人一人の状況をしっかり把握しています。また、上長による声掛けや制度周知も積極的に行っています。
- 社内ポータルには、個別にメッセージを送信できる機能もあるため、周囲に知られたくないことでも気軽に相談しやすい環境があります。
- 制度が利用しやすい環境づくりと、相談する手段を複数用意することで、何かあったときに、気兼ねなく制度を使おうと考えてもらえるような体制を整えています。

### 取組による効果

- 短時間勤務制度を使うことで、持続的に仕事を続けられる安心感から、仕事へのモチベーションも保てるため、技術者としての質や責任感を変わることなく持ち続けることができています。
- 作業工程を事前に整理し、周囲の人とも状況を共有しながら、限られた時間で作業する意識が高まりました。結果として、作業効率の向上にもつながっています。制度の活用は、働き方を調整しながら技術職を継続するための重要な手段となっています。



株式会社 **修護**  
SHUGO Co.,Ltd.

**株式会社修護**

「働きやすく、誇りを持てる職場環境」で  
文化財修復業を変える



# 株式会社修護



## 「働きやすく、誇りを持てる職場環境」で文化財修復業を変える

### 会社概要

代表者名： 代表取締役 池田 和彦  
 創立(創業)： 2011年  
 所在地： 荒川区西日暮里2-28-4  
 TEL： 03-5604-5208  
 従業員数： 13名(うち正社員13名)  
 URL： <https://www.shugo.co.jp/>  
 業種： 学術研究、専門・技術サービス業  
 事業内容： 文化財の保存・修理



#### 評価ポイント1

定時退社を前提とした独自の業務設計を構築し、業務の標準化・効率化を実現

#### 評価ポイント2

若手従業員向け教育プログラムの運営を工夫し、残業削減・従業員パフォーマンス向上

#### 評価ポイント3

女性が働きやすい制度が充実。ライフステージに合わせた働き方を支援

### 目的・理念

## 働き方を整え、伝統技術を継承し、文化財を未来につなぐ

弊社は、文化財の保存修理を専門とする法人として、伝統技術と科学的知見の双方を踏まえた修理業務を行っています。保存修理の分野は、手仕事への依存度が高く、長時間労働が慣行化してきた側面があり、作業環境や就労条件の整備が重要な課題となっています。弊社では、時間外労働に依存しない業務体制と、適切な労務管理を前提に、技術継承と品質確保の両立を図り、文化財を安全に次世代へ伝えることを念頭に事業運営を行っています。

### 経営者からのメッセージ



代表取締役 池田 和彦

弊社は「文化を護る」という企業理念を掲げ、国宝や重要文化財をはじめとする多様な文化財の保存修理を中心に、アーカイブを含む文化財に対する保護活動全般を行っています。私たちの専門とする「装幀(そうこう)修理技術」は、日本国の選定保存技術として認定され、ユネスコ無形文化遺産にも登録された重要な伝統技術です。この技術の習得と継承には長い年月が必要であるため、安心して働き続けられる環境を整えることこそ、文化を護る土台になると位置づけています。ライフ・ワーク・バランスの取組を継続し、働きやすい環境のもとで専門性を高められる体制を維持することにより、従業員一人一人が成長し、企業の発展にもつながると考えております。今後も、従業員の人生に寄り添い、技術が持続的に継承される職場づくりに努めてまいります。

### 取組の経緯・背景

文化財の保存修理に関わる業界は、伝統技術による手仕事の比重が非常に大きいため、長時間労働が慣習として根付いてきた側面があります。実際、代表者自身が業界に足を踏み入れた約30年前は、徒弟制度の名残も色濃く、技術を身につけるためには時間を惜しまず働くのが当然とされていました。しかしながら、従業員一人ひとりの暮らしが守られてこそ、はじめて質の高い仕事が可能となり、また、優秀な人材に長く活躍してもらうためには、働きやすい環境を併せて整える必要があると考えています。安心して働ける環境がなければ、文化財の保存修理を志す若い世代がこの業界に定着しない状況にまでいたりつつあることから、「従業員の生活を守ることが、文化財を未来へ継承することにつながる」という考えのもと、ライフ・ワーク・バランスの推進に取り組むようになりました。



### 従業員の声



- ライフ・ワーク・バランスに取り組む環境が整ったことで、技術者として無理なく働き続けられる職場になり、「働きやすさ」と「技術に集中できる環境」が両立されてきていると感じます。仕事に向き合うことは決して甘くありませんし、技術の水準も妥協していません。それでも、残業に頼らず、到達目標を従業員同士で共有しながら作業するようになったことで、本当に重要な作業に集中できるようになりました。
- 勤務時間内に若手従業員への教育が完結するため、仕事への集中力が高まった上、技術者としての判断基準などを言語化する機会が増えたため、自分自身の成長にもつながっていると感じています。
- 短時間勤務制度やベビーシッター派遣事業割引券を併用するようになってから、仕事と家庭の時間配分を計画的に調整できるようになりました。子どもたちの生活リズムに合わせて、一定の時間で退勤できる働き方は、家庭を健全に運営していく上で非常に助かります。

### 取組紹介

## 1 定時退社を前提とした独自の業務設計を構築し、業務の標準化・効率化を実現

#### 取組内容

- 独自の作業管理システムを作成し、同時に進行している複数の業務それぞれの工程、人員配置の状況を可視化しました。このシステムは、作業日報と連動が可能で、進捗状況の管理がリアルタイムで行えます。
- 効率化のために導入したシステムが負担になってしまうと本末転倒なため、誰でも扱いやすくシンプルな設計を心がけています。
- 到達目標を共有し、業務を標準化することで、チーム全体で責任を分担できる体制を整備しました。
- 作業工程を整理し、役割分担を明確にする仕組みを整えたことで、無駄のない作業計画が立てられるようになりました。プロジェクトごとに進捗を共有し、負担が偏らないように事前に調整しています。特に繁忙期には、状況をチーム全体で把握して動けるため、残業に頼らず、納期を守る体制を実現できています。

#### 取組による効果

- これまで進捗管理に要していた時間が不要になったことに加え、リアルタイムの状況に則した作業計画を立て直しやすくなった結果、業務遅延に起因する残業が削減されました。
- 自分が担当していない他のプロジェクトにも関心を持ち、従業員がサポートし合える環境づくりにも一役を担っています。
- 到達目標を共有することで、若手にも作業を任せやすくなりました。仕事を経験させる機会を意図的につくることで、熟練者の負担を減らしつつ、若手が業務の中で成長できる環境になりました。

